

角膜移植者から

No. 3

昭和59年退職に当たり、人間ドックにも入り検査して頂きました。退職後は比較的健康でしたが、毎年住民検診を受けて来ました。

平成17年の住民検診で眼圧が高いので精密検査を受ける様言われました。近くの病院で、診察を受けました所、緑内障の心配があるので治療する様言われ、その後2ヶ月毎の診察を受けてまいりました所、平成24年6月右眼の視力も弱く白内障の手術をする様言われ、その時角膜に、傷があるので、岐阜赤十字病院へ行くように言われました。岐阜赤十字病院の先生宛に紹介状を書いていただき、平成24年8月に診察を受け、その時、取りあえず、白内障の手術をしても、角膜が弱っているので、見える様にはならないが、との事で、9月に手術をして戴きました。その後地元の病院で治療を受けておりましたが、あまりよくなりず、だんだん目が暗くなりました。

12月に岐阜赤十字病院の先生より、角膜の移植手術をしなければよくならないと言われました。84才という年齢でしたので迷いましたが、まだ足腰の痛い妻を病院に連れて行くには車の運転をしなければ、と息子とも相談をして手術をお願いすることに致しました。

先生が手術するには国内では何時角膜が入るか解らないがアメリカだったら高いがすぐ入るとの事でしたが、遅れても国内の角膜をお願いし、いつでも入院できる様にしました。2ヶ月以上かかると思っていました所、25年1月に角膜が入ったから早速入院する様に、と電話を頂き、翌日に入院しその日に手術をして頂きました。

手術して5日後に眼帯を外しました時、今まで暗かった目の前が大変明るくなり、びっくり致しました。

角膜を下さったお方、また手術をして頂きました岐阜赤十字病院の諸先生方、本当にありがとうございました。こんなに良くして頂き本当に有難くお礼の申し様もございません。重ねて厚く御礼申し上げます。

日本の医療技術がこんなにすばらしく、また、大切な角膜などを提供して下さる方々のお陰でこんなに幸せになれました事を心から感謝申し上げます。

今では視力も大方戻り、本当に喜んで居ります。

私も残りました人生、健康に留意し、自己管理に努め、出来る限り自分で出来る様頑張りたいと思います。

角膜を頂いたお方、また岐阜赤十字病院の諸先生方、看護師さん、本当にありがとうございました。